

新学期 子どもたちの新たな出発… 地域と学校のあり方も課題です



新学期、親も子も希望と期待に胸を膨らませたスタートだったと思います。その期待に応える上でも荒川区の教育や子育てについて区民的な議論を起こしていくことが大事だと思えます。

荒川区は、二〇〇一年以降学校選択制 習熟度別指導学力テスト 一年からの小学校英語科を「教育改革」として実施しました。すでに数年を経過し、賛否は別にして子どもの立場から客観的な検証を行う時期に来ています。学校選択制は、自由に選び

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員団

区政報告
ニュース

302

2008年4月13日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
E-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504

学童クラブは、満員状態 一刻も早く30人単位で分割を

町屋地域の学童クラブに通う児童は、昨年と比べて若干増加しました。放課後の生活と遊びの場として大事な事業であり、希望者は年々増え続けています。全員受け入れているものの、いずれの50から80人という大規模学童クラブです。1年から3年生であり、せめて30人規模に分割する決断が必要になっています。

町屋地域の学童クラブ

	今年度		前年度
	全体	内1年	全体
四峡小	54	23	49
五峡小	60	28	53
七峡小	67	18	67
大門小	80	27	79

両年度とも4月1日現在
(障害児も含む人数)

たいという希望もあります。同時に町屋地域で見ても通学区域内の子どもで、区内の学校に入学したのは、小学生でも六五%、中学生では三〇%台しかいません。学校選択制を導入した〇三年度に比べて明らかに増加しています。学校によって多少の差はありますが、地域と学校の関係にどんな変化が起こっているのでしょうか。やはり客観的な検証は不可欠です。

	2008年度			2003年度		
	区域内人数	入学数	(区域内)	区域内人数	入学数	(区域内)
四峡小	22	66	22	40	61	31
五峡小	76	49	45	82	72	51
七峡小	61	59	48	64	47	37
大門小	65	51	38	64	61	45
五中	146	97	64	165	83	64
原中	143	69	42	144	94	79

区域内人数 = 通学区域内の対象人数
08年度(区域内)入学は、昨年未の申込数、実際とは誤差がある

日本共産党区議団
ホームページアドレス
<http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcpara/>

裏面 区政、区議会情報など

定例法律相談 連休のため変更… 5月13日(火) 午後6時～8時 横山区議事務所 お間違いなく

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介しますので、お気軽にご連絡ください。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。

まちの話題あれこれ

**春本番・尾久の原公園でも様変わり
しかし池の中では、トンボの幼虫「ヤゴ」が準備中?**

朝、尾久の原公園を歩いてみました。以前、うっそうと茂っていたアシなどの植物もなくなり、一面の「野原」へ。そこに、ポツカリと池がその姿の全てを見せていました。冬の時期にいた鴨などは、もちろんいません。何か生物はいないか、目を凝らしましたが、何も見えませんでした。そこで池の縁にあった「尾久の原公園のトンボたち」の掲示板に目をやると植物とトンボの一覧が解説してありました。トンボというともう少し先かと思っていました。が、「ギンヤンマ」「アジアイトトンボ」は四月下旬から見られると書いてありました。

ある日の尾久の原公園

まちづくりを考える...4

安心して住み続けられる街づくりをめざして 医療、介護、住まい、仕事おこしなど連携



(上)メディカルフィットネスクラブ
(右)介護付きアパート「こころ」



地域の実態(くらし、医療から経済まで)から出発 高齢者のくらしを支えるネットワークづくりを共同で

山形県鶴岡市の庄内医療生活協同組合を視察してきました。この医療生協は、総合病院(二百四十四床)とリハビリ病院(百五十六床)を軸に展開。隣接の付属クリニックには、プール付きメデイカルフィットネスを持ち、健康づくりの段階から関わっています。診療所に連結したデイサービスセンターと有料老人ホームもつくりました。入居者には三百六十五日デイサービス支援・二十四時間型ヘルパー派遣も可能です。

さらに医療と連携、住み慣れた地域で生活出来る施設や住宅を提供する事業に取り組んでいます。庄内地域は、人口約三十三万人十年間で八千人以上の人口が減少、高齢化率も二十五%。域内の所得格差も拡大傾向に。こういった調査も踏まえ、地域経済と生活一体で安心して住み続けるための地域づくりをすすめる「庄内まちづくり協同組合『虹』」を購買生協や社会福祉法人などと設立しました。

ケア付き高齢者住宅「こころ」を建設。病院のそばに介護付きの五十二室を設置、介護保険報酬と住宅費負担を組み合わせた「一時金無し」「食費込み月額八万五千円程度」の利用者負担です。デイサービスセンターと連結、デイサービスと配食を利用する方法です。入居者は、胃ろう(管で胃に直接栄養)の高齢者も多く急性医療が必要な時は病院に駆け込めます。他に月5万円負担のケア付き住宅も。民間団体だけでも高齢者の立場で真剣に取り組めば相当なことができる実感しました。荒川区でも土地の問題など違いますが、行政と民間の真剣な協同で、安心して住み続けるためのまちづくりは、可能ではないでしょうか。

住み続けられる街づくり(高齢者の住まいづくり)

街づくり協同組合との連携	庄内医療生協として
ケア付き高齢者住宅「虹の家 こころ」 *医療依存度の高い方への対応 *個人負担は、平均8万5千円	三川診療所併設サポートセンター *住宅型有料老人ホーム+デイサービス *7万円台で暮らせる施設の実現
ケア付き高齢者住宅「虹の家 おうら」 *宿泊可能なデイサービス *5万円台で暮らせる施設の実現	三川→小規模多機能型居宅介護事業所 朝日→住宅型有料老人ホーム、デイサービス、訪問介護

区政トピックス...

「気管支ぜん息」の方は、年齢に関係なく医療費負担が無料になります(今年8月から)

今年8月から「東京都大気汚染医療費助成」制度が、はじまります。

この制度は、「東京公害患者と家族の会」やぜん息患者さんが東京都や自動車メーカー相手に起こした「大気汚染公害訴訟」の和解に基づき実現したものです。これによって、これで18歳未満しか適用されなかった医療助成が「気管支ぜん息及びその続発症」に限って18才以上に拡大されます。なお 都内一年以上在住 喫煙者は禁煙が条件(誓約書)などの条件があります。

8月実施に向けて受付が行われます。

詳しくは、荒川区保健予防課 公害係大気汚染医療費助成担当まで 3802-3111 内線424



こんな働き方
おかしくないですか!?

お気軽に
ご相談下さい

☆残業代がない

正社員も派遣、バイトも「残業したら割増賃金」は当然。払わないのは犯罪です。

☆もう3年「派遣」
いつまで?

3年以上「派遣」で働くと、あなたは、もう正社員になれる。派遣先の会社は「正社員になりますか」と申入れの義務もある。会社がごまかしたら「派遣法40条違反」と教えよう。

☆解雇されそう

身勝手な解雇は禁止されている。バイトも「やむを得ない理由」がないとダメ。

いま、「日雇い派遣」など不安定雇用の拡大と偽装請負、サービス残業など違法行為が大問題です。こうした問題で悩み、不安をお持ちの方ぜひご相談下さい。労働組合や専門家などごいっしょに解決に当たります。

連絡先 3802-4627(区議団) 3891-6682(党事務所)

E-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp